

- 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 -

「使用上の注意」改訂のお知らせ

抗悪性腫瘍剤 抗ヒト EGFR 及び抗ヒト MET ヒト二重特異性モノクローナル抗体

アミバンタマブ(遺伝子組換え)注射液

ライブリバント[®] 点滴静注 **350mg**

(一般名：アミバンタマブ (遺伝子組換え))

2026 年 3 月

製造販売元 ヤンセンファーマ株式会社

この度、標記製品の「使用上の注意」を一部改訂致しましたので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記の改訂部分にご留意の上、改訂電子添文をご参照下さいますようお願い申し上げます。

《今回の「使用上の注意」の改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報 (Drug Safety Update) No. 344 (2026 年 4 月発行) に掲載される予定です。》

© Janssen Pharmaceutical K.K. 2026

TV-FRM-06072
Version 6.0

Page 1 of 3

【改訂理由】

厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知（令和 8 年 3 月 6 日付）に基づく改訂

7. 用法及び用量に関連する注意

アミバンタマブ（遺伝子組換え）とラゼルチニブとの併用投与による静脈血栓塞栓症の発症を抑制するためのアピキサバン投与について、出血リスクに十分注意する旨の注意喚起を追記することといたしました。また、腎不全（クレアチニンクリアランス（CLcr）15mL/min 未満）の患者ではアピキサバンを投与できないことから、アミバンタマブ（遺伝子組換え）とラゼルチニブの併用投与以外の治療選択肢を考慮する旨、注意喚起することといたしました。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.2 腎機能障害患者

腎不全（CLcr 15mL/min 未満）の患者ではアピキサバンは投与できないことから、ラゼルチニブとの併用投与以外の、他の治療選択肢を考慮する旨、注意喚起することといたしました。

最新電子添文情報は医薬品医療機器総合機構情報提供ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）に掲載されていますので、あわせてご利用ください。

また、下記バーコードを「添文ナビ®」で読み取ることで、電子添文及び関連文書を閲覧いただけます。

GS1



(01)14987672585581